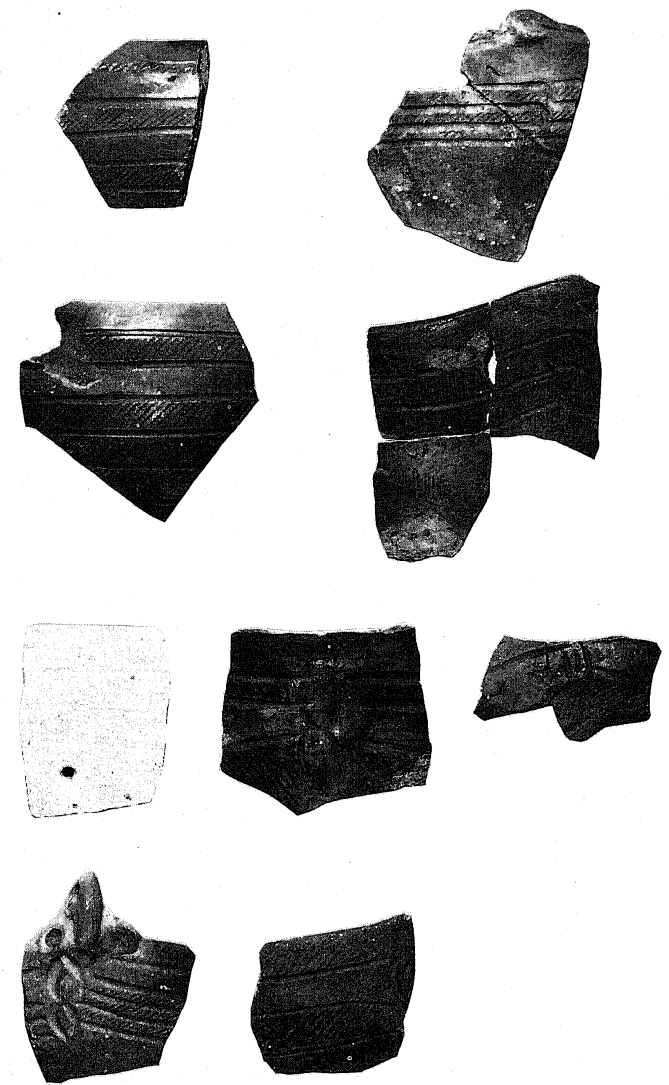
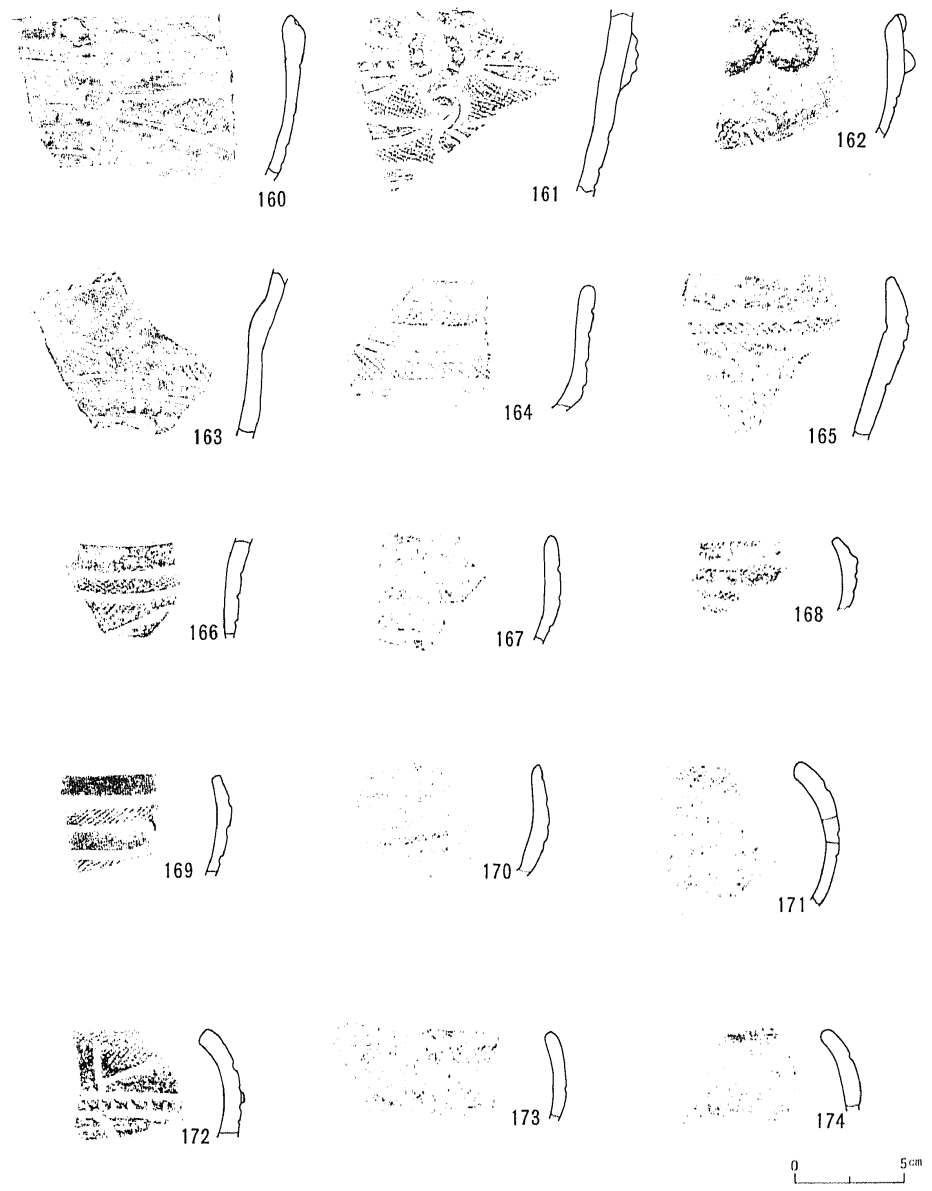


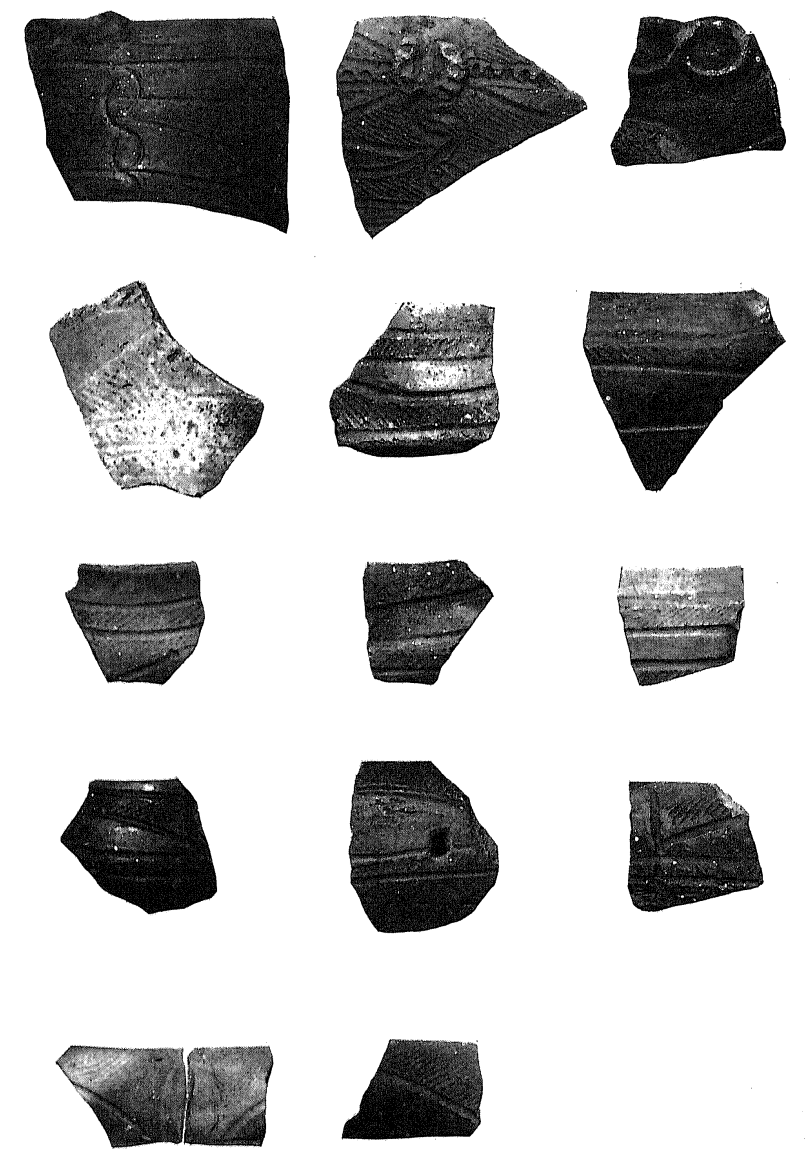
第59図 中谷遺跡出土土器拓影図(10)



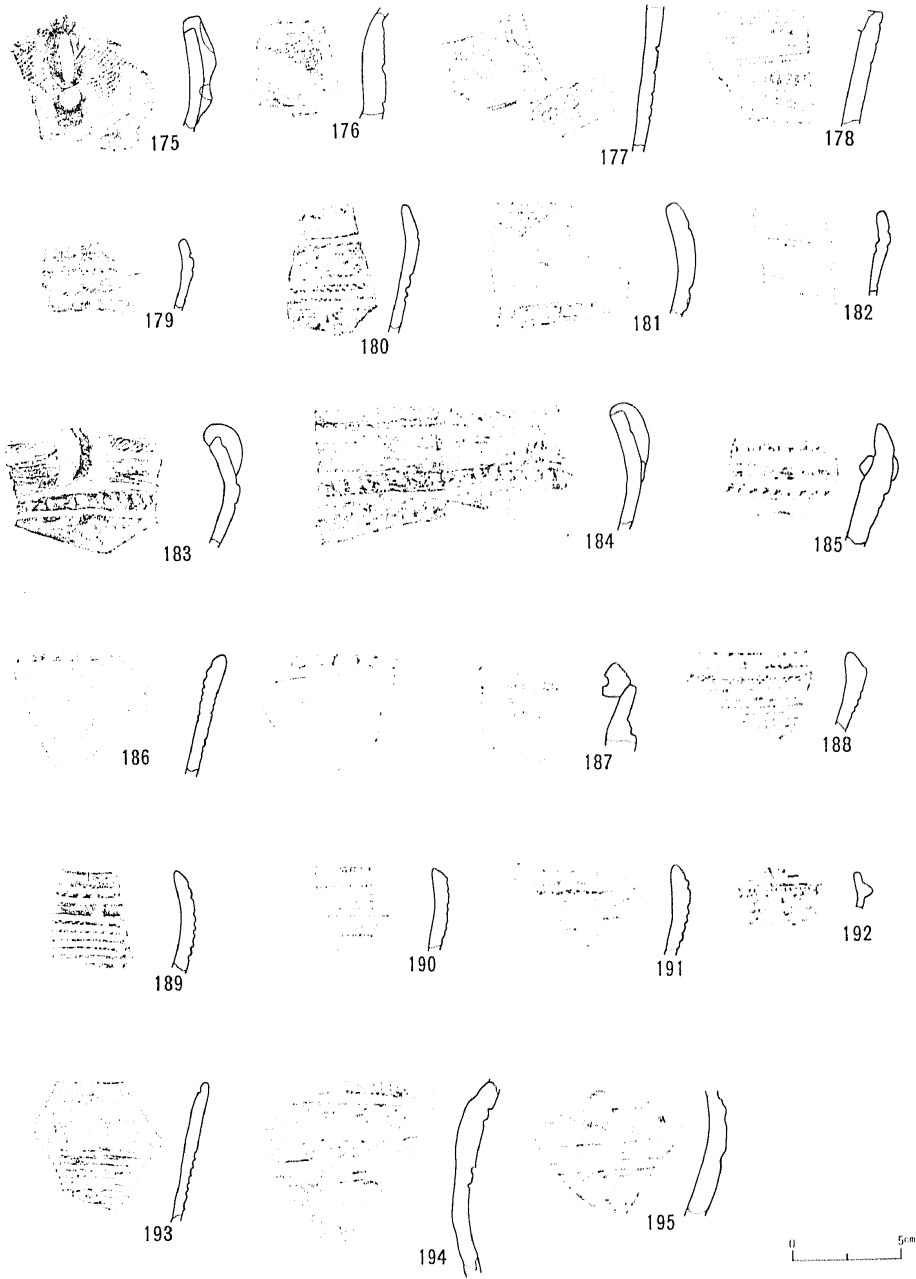
第60図 中谷遺跡出土土器



第61図 中谷遺跡出土土器拓影図(11)



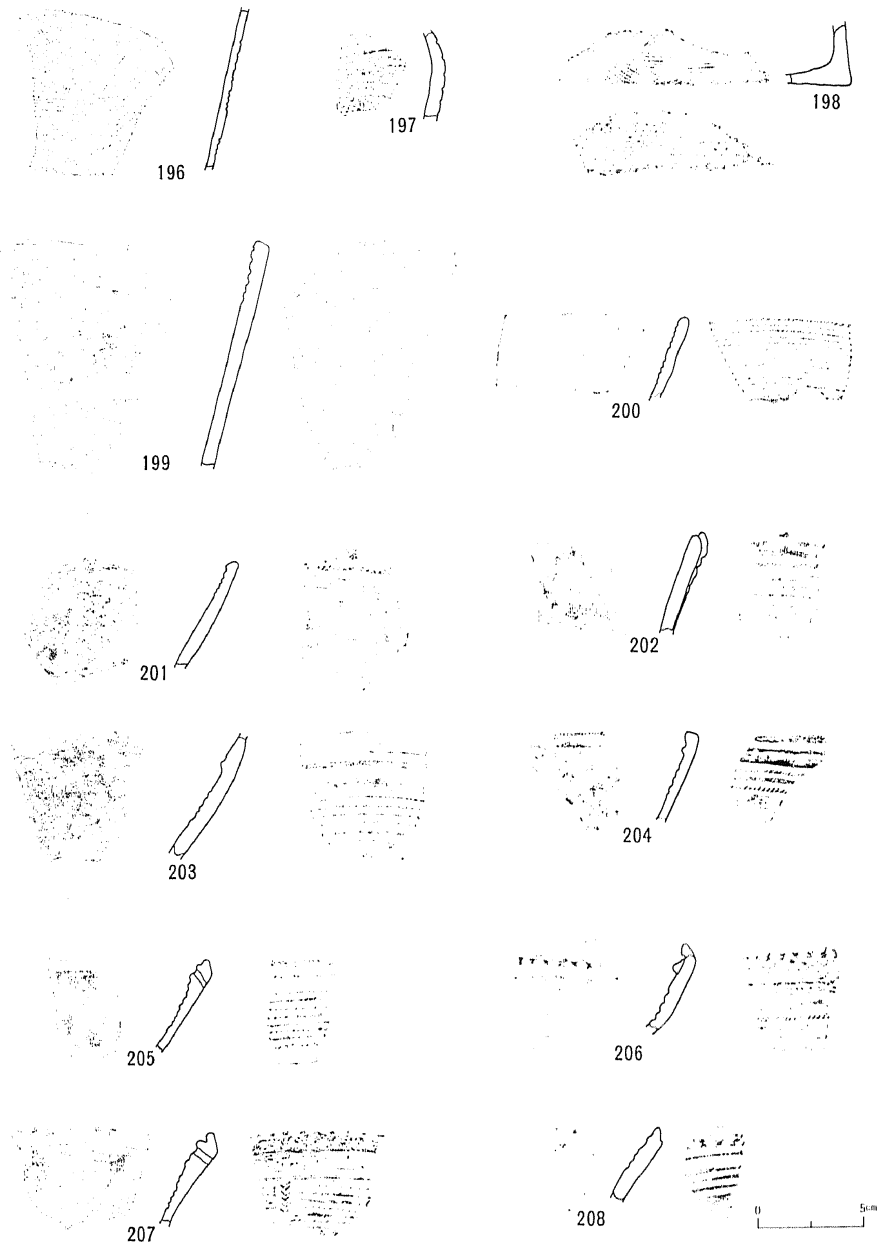
第62図 中谷遺跡出土土器



第63図 中谷遺跡出土土器拓影図(12)



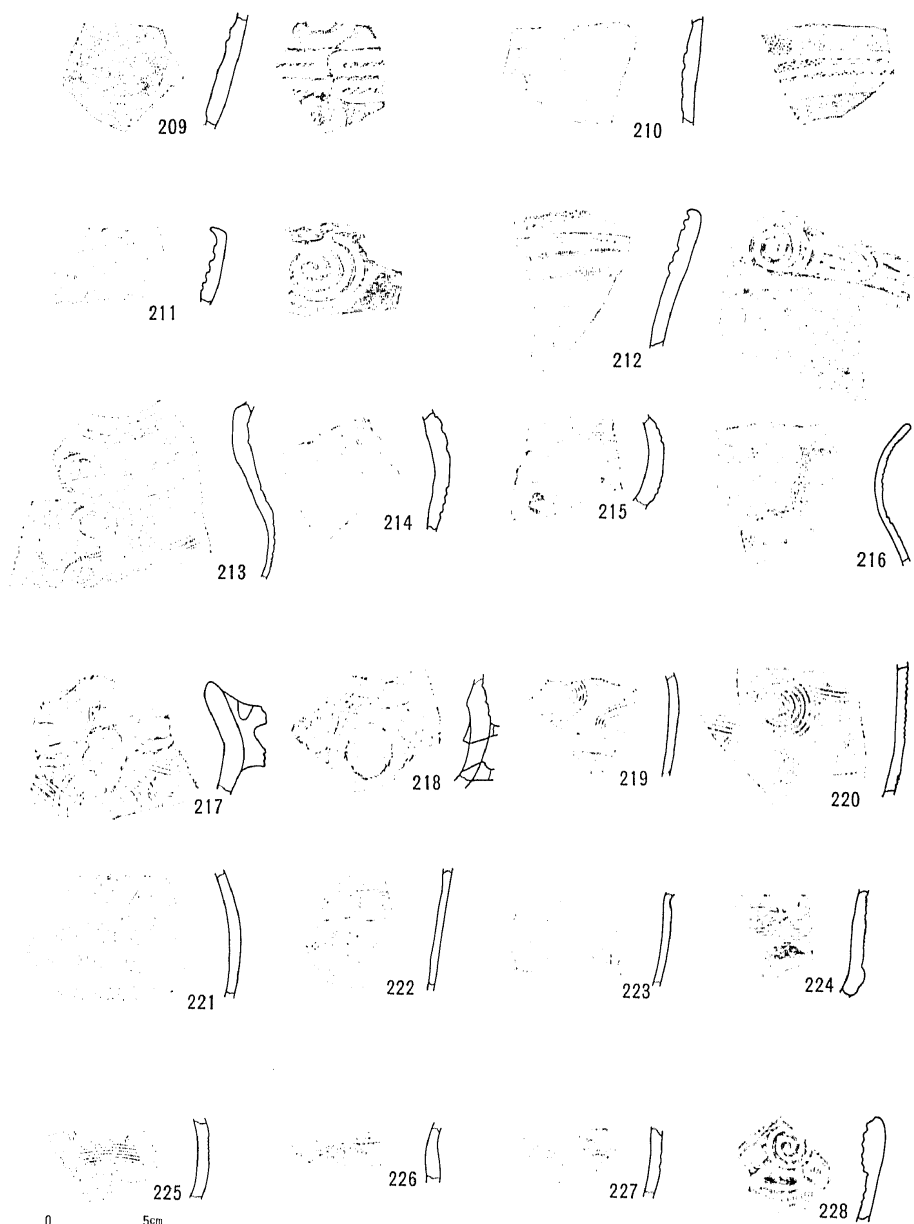
第64図 中谷遺跡出土土器



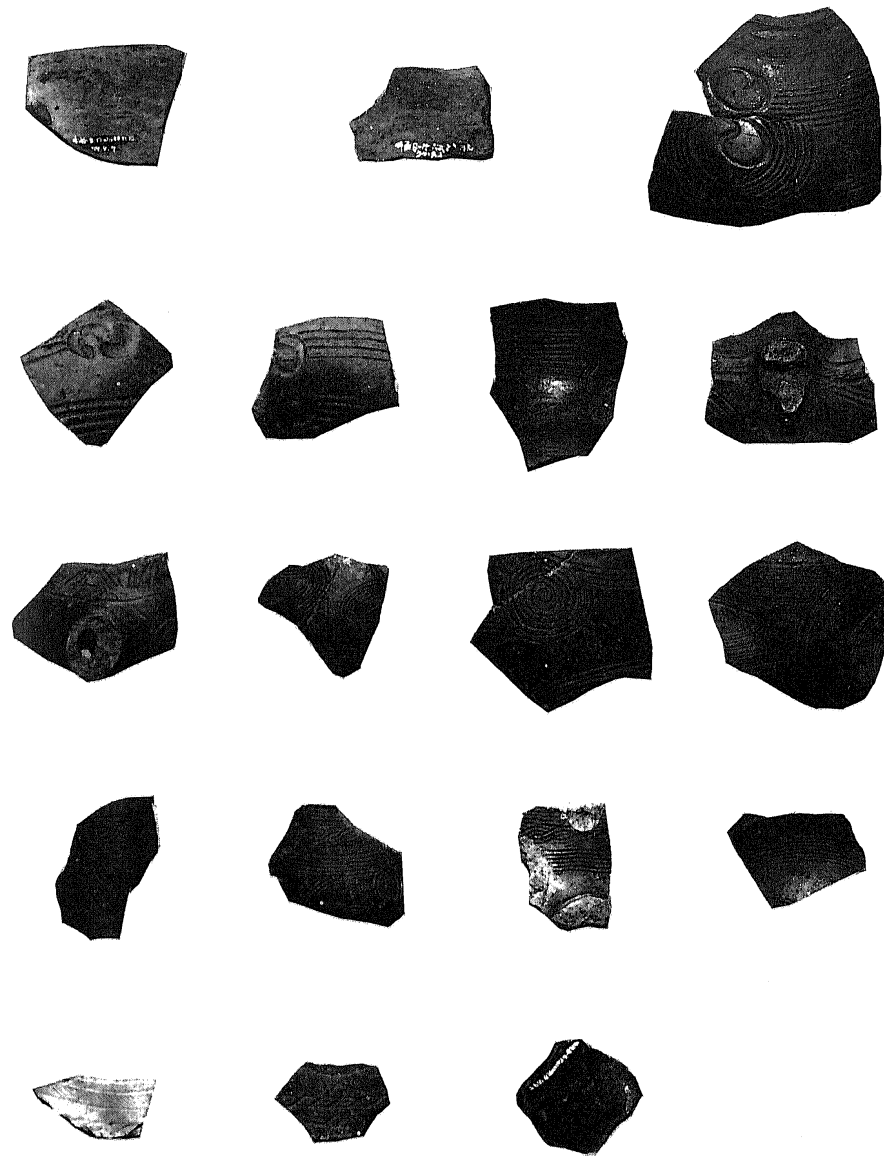
第65図 中谷遺跡出土土器拓影図(13)



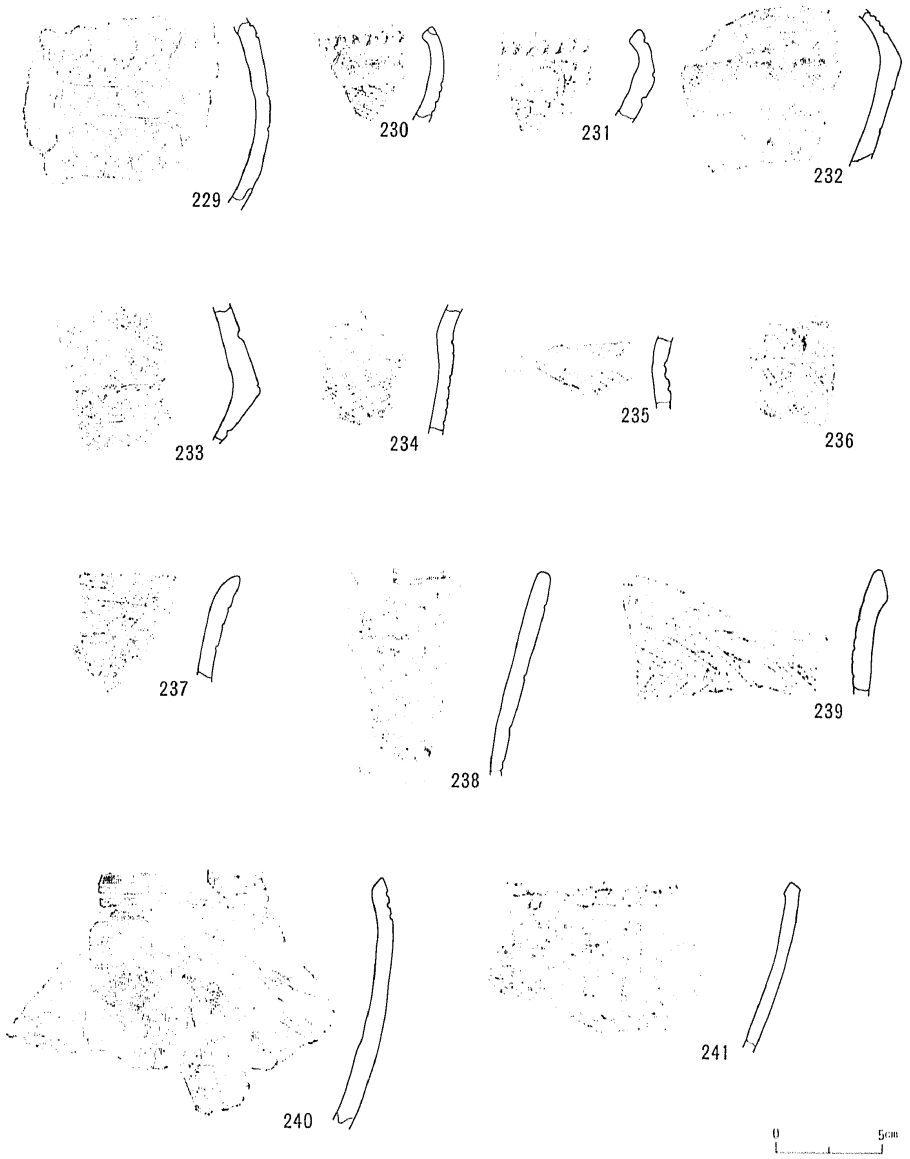
第66図 中谷遺跡出土土器



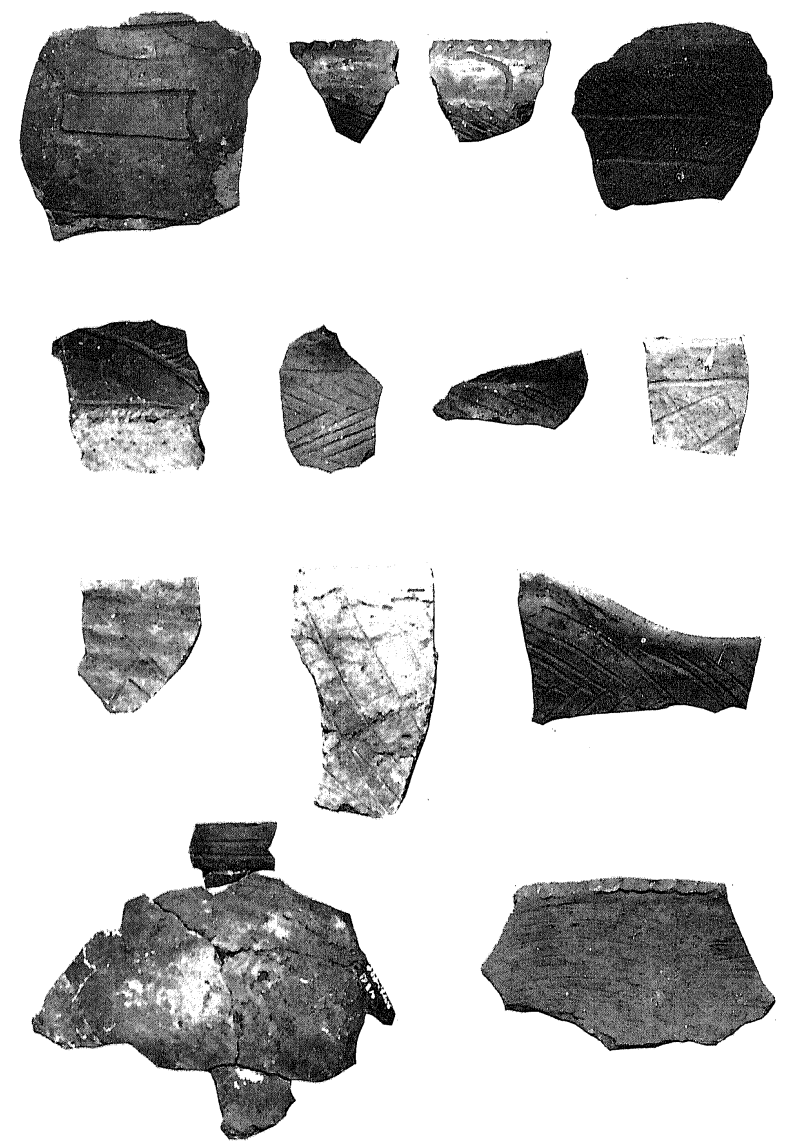
第67図 中谷遺跡出土土器拓影図(14)



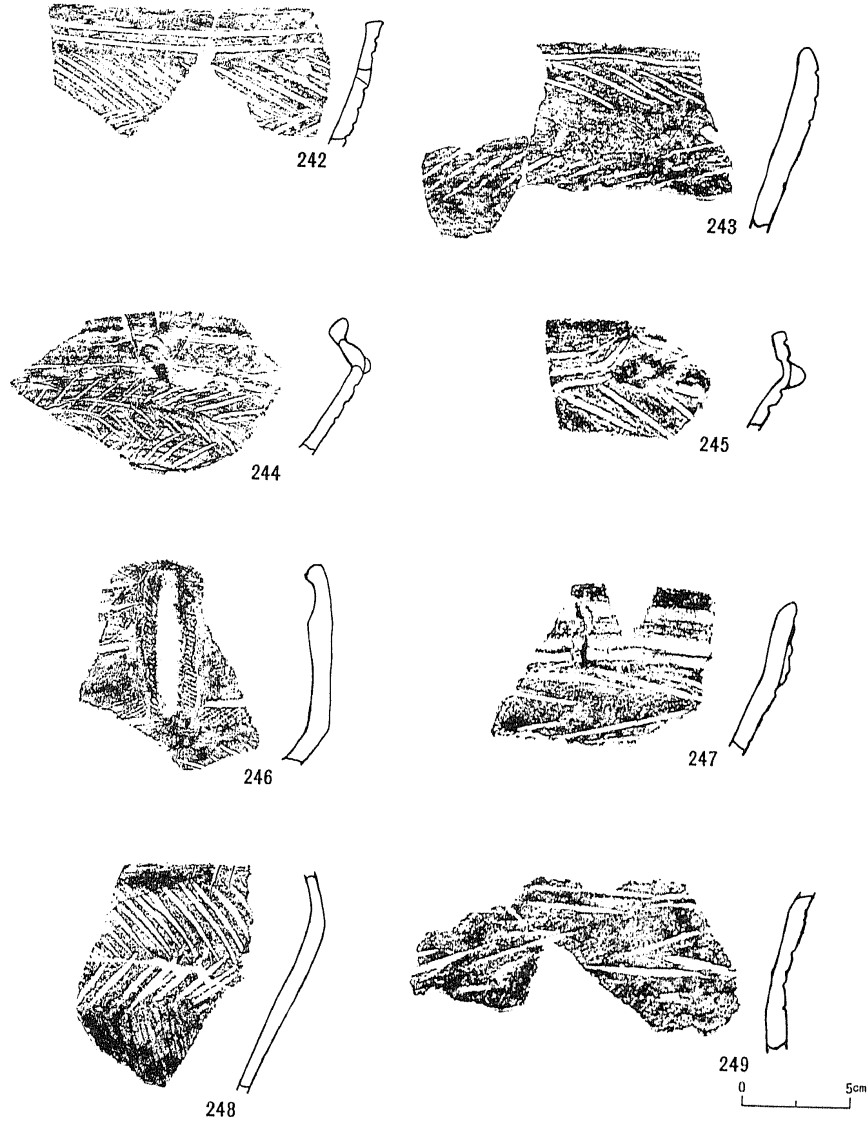
第68図 中谷遺跡出土土器



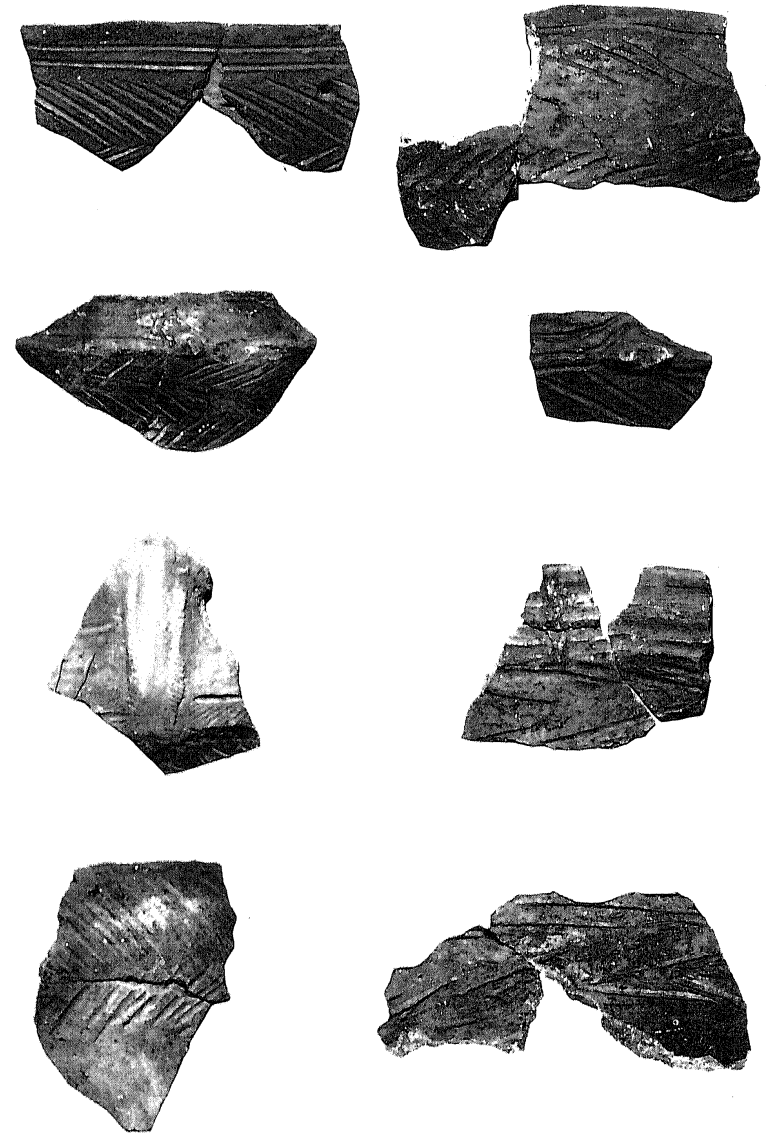
第69図 中谷遺跡出土土器拓影図(15)



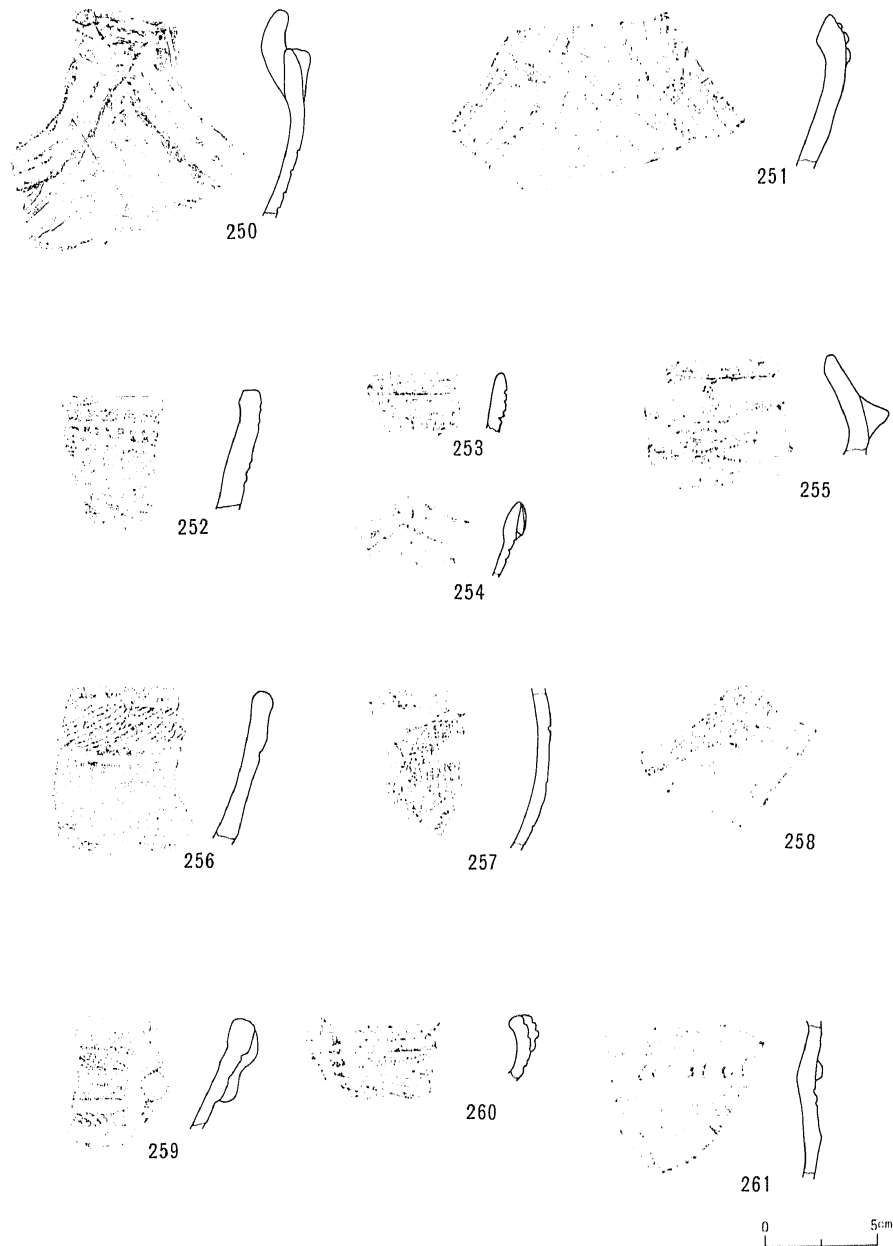
第70図 中谷遺跡出土土器



第71図 中谷遺跡出土土器拓影図(16)



第72図 中谷遺跡出土土器

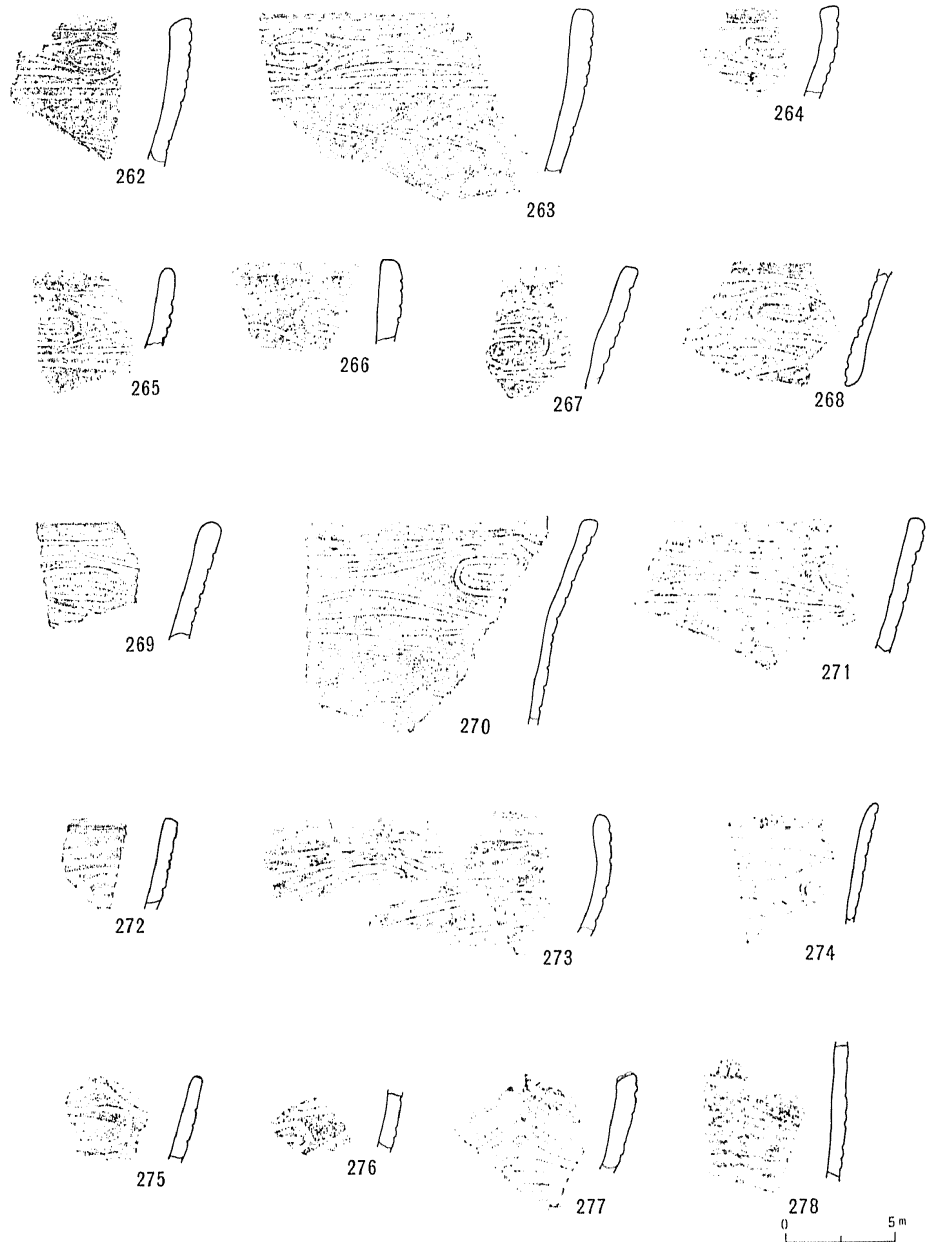


第73図 中谷遺跡出土土器拓影図(17)

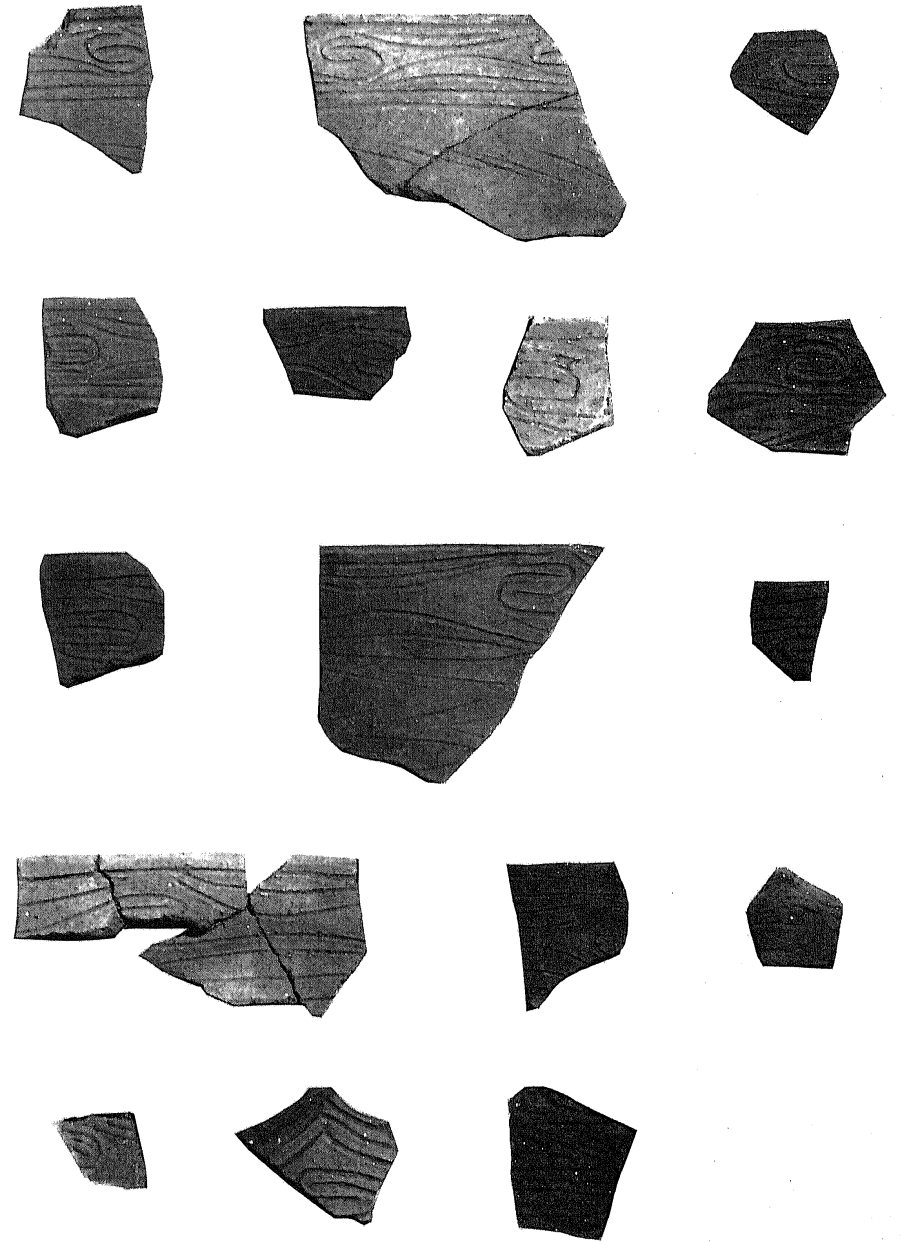


第74図 中谷遺跡出土土器

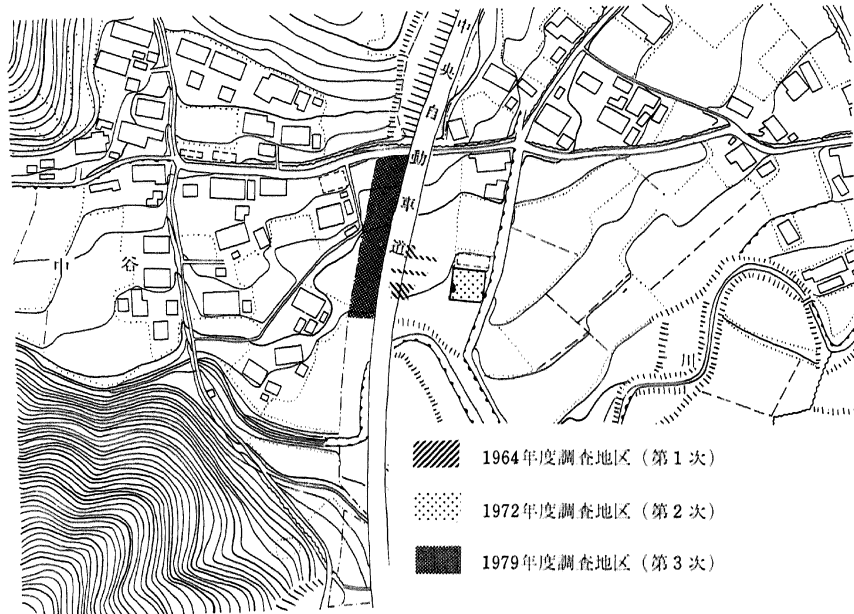




第75図 中谷遺跡出土土器拓影図(18)



第76図 中谷遺跡出土土器



第3図 遺跡調査区(第1~3次)位置

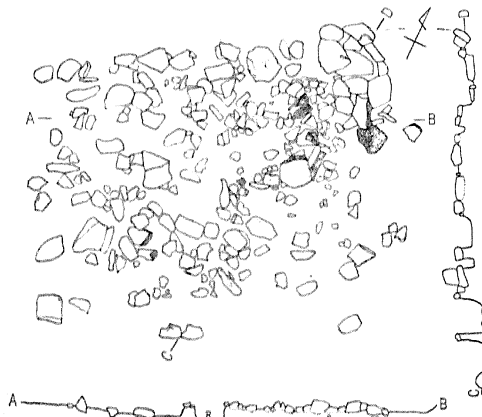
第1次調査

調査地点は、現在の中央道富士吉田線小形山高架下付近に位置し、調査では5本のトレンチが設定され、このうち2本のトレンチにおいて配石遺構が発見された。

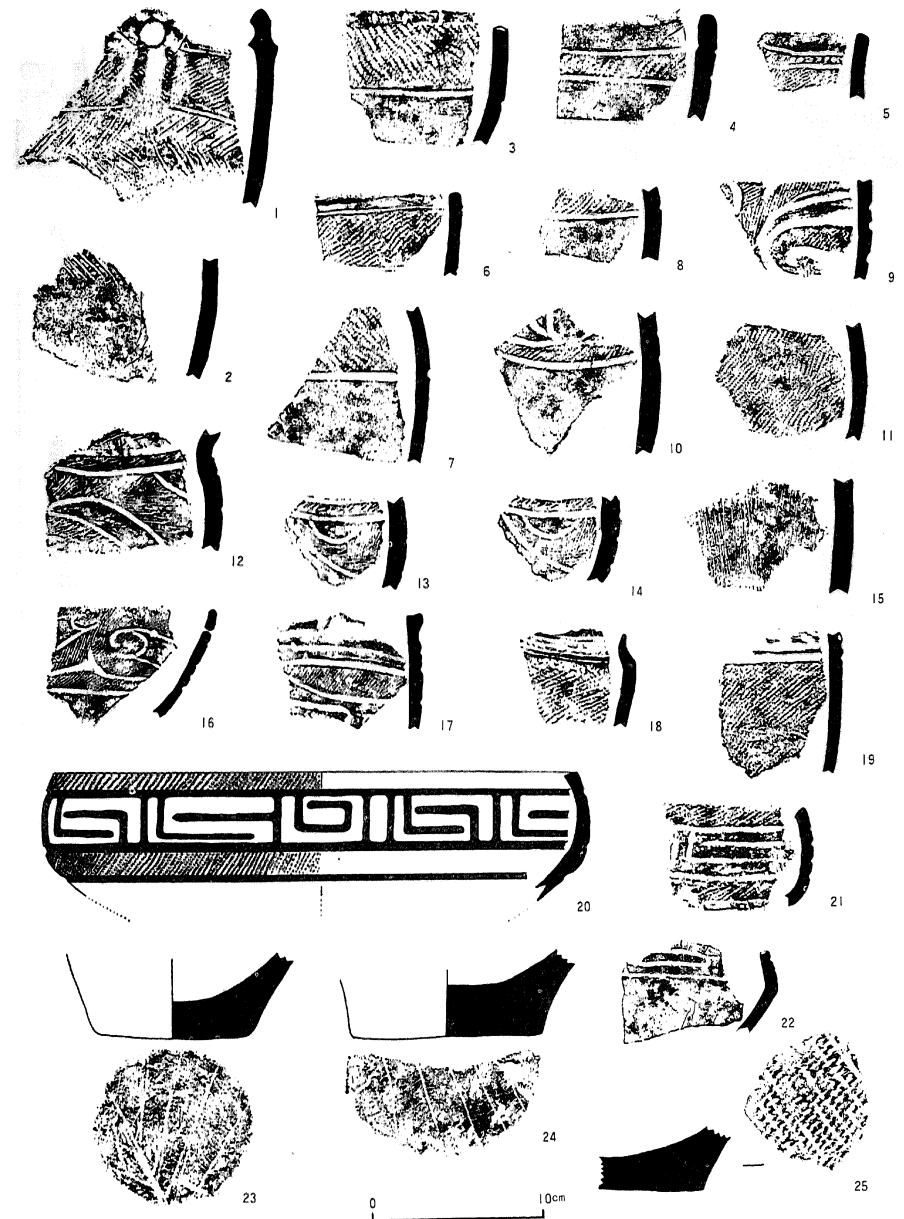
配石遺構は、現地表下1.6mの黒色土層中に4.4m×2.8mの範囲にわたって、拳大から人頭大の河原石が散然と認められたもので、レベルも一定ではなく、かなりの高低差がみられた。

出土遺物は、縄文時代晩期の土器を主体に、土版・石鏃・磨製石斧などが検出された。

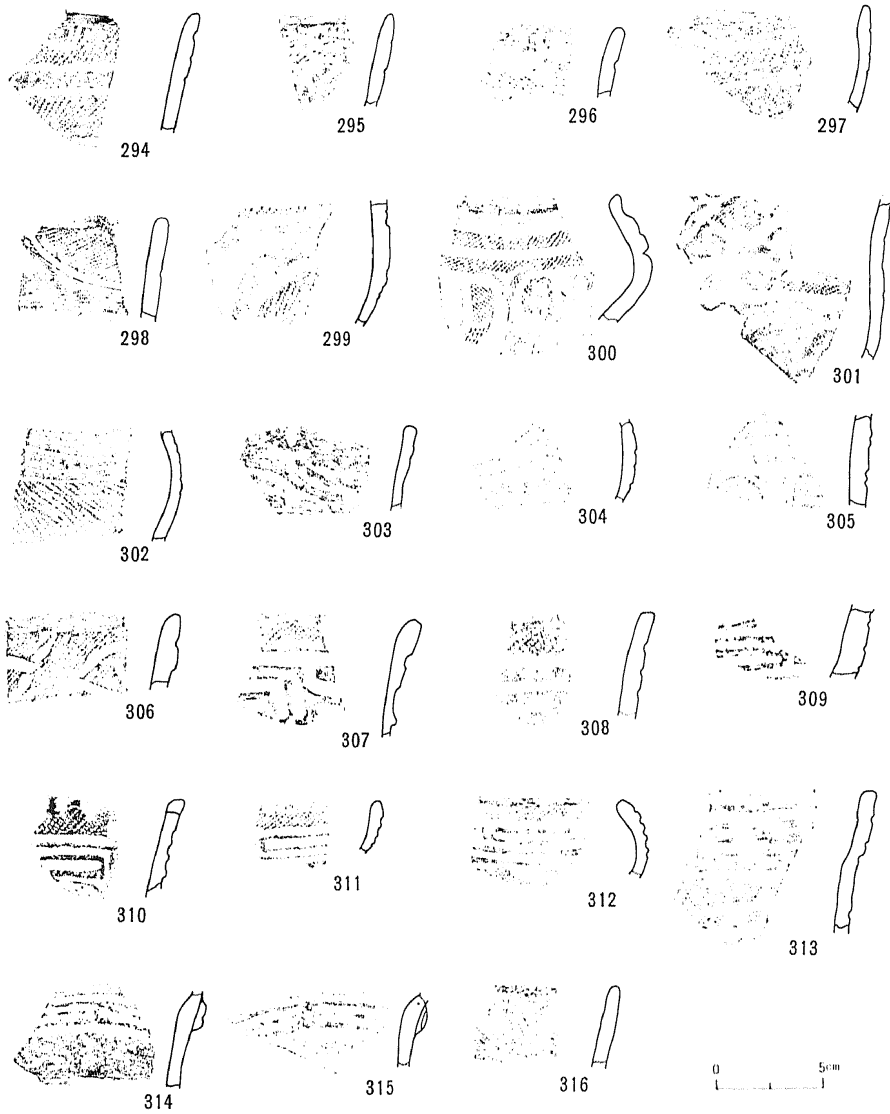
第5・6図は、このときの調査で出土した土器であるが、これらのうちで、26~40の土器片は沈線文と列点だけで、文様が構成されたもので、同時代晩期中葉に位置付けられるものと思われる。



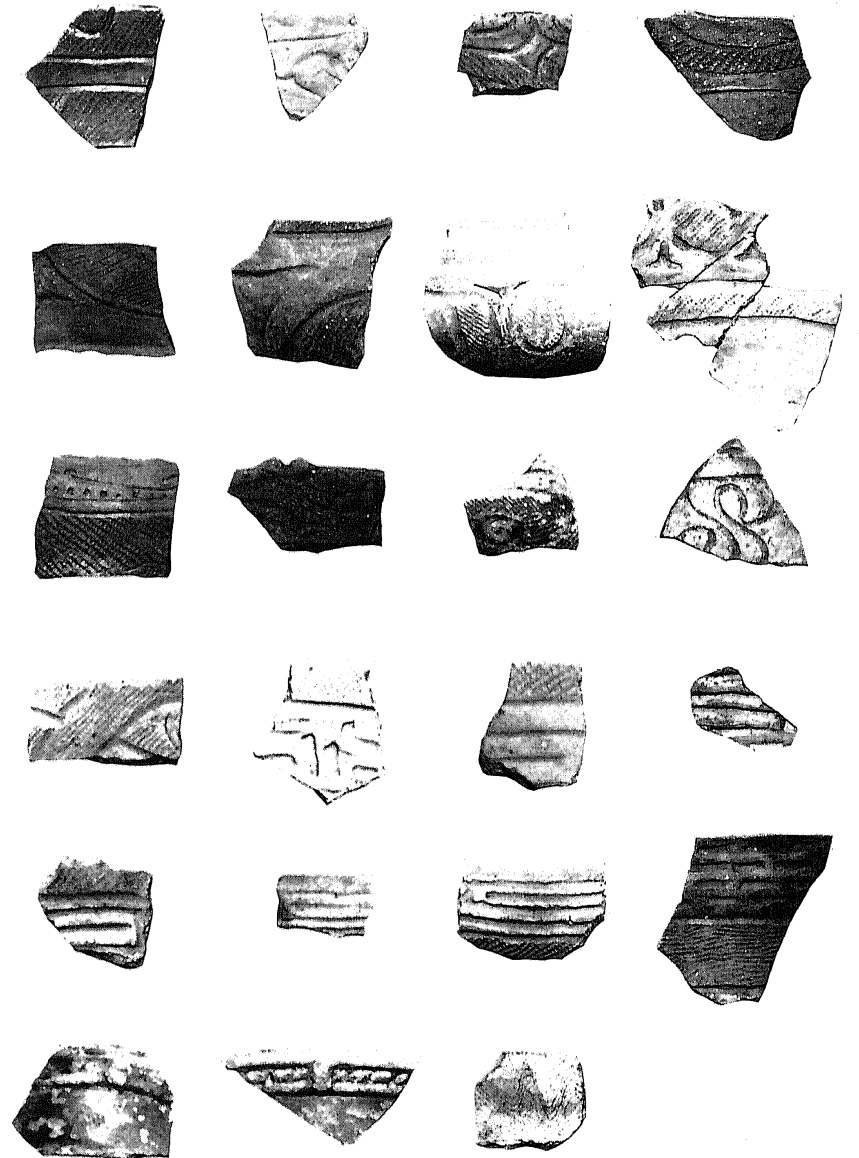
第4図 配石遺構(第1次調査) [甲斐考古8 1967より]



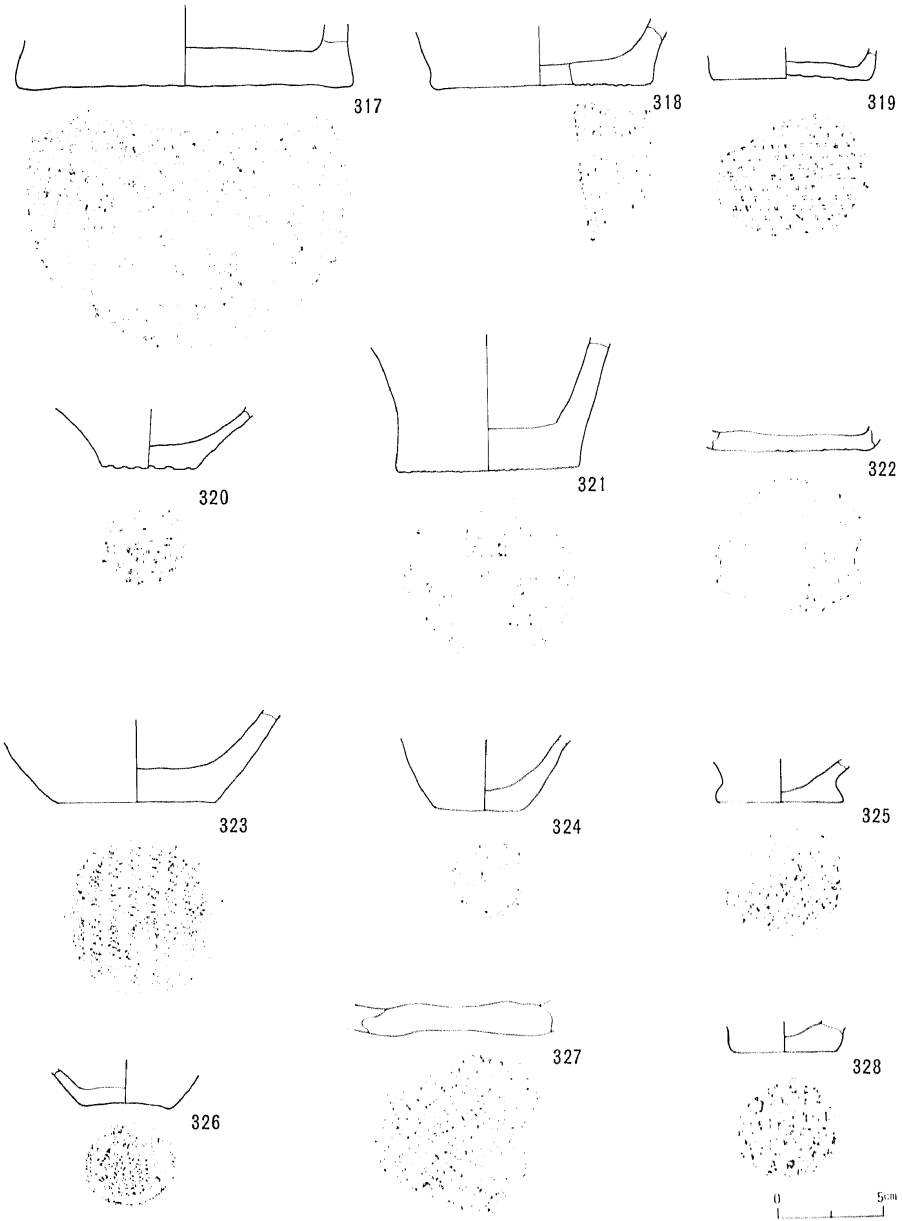
第5図 中谷遺跡出土土器(第1次調査)(1)



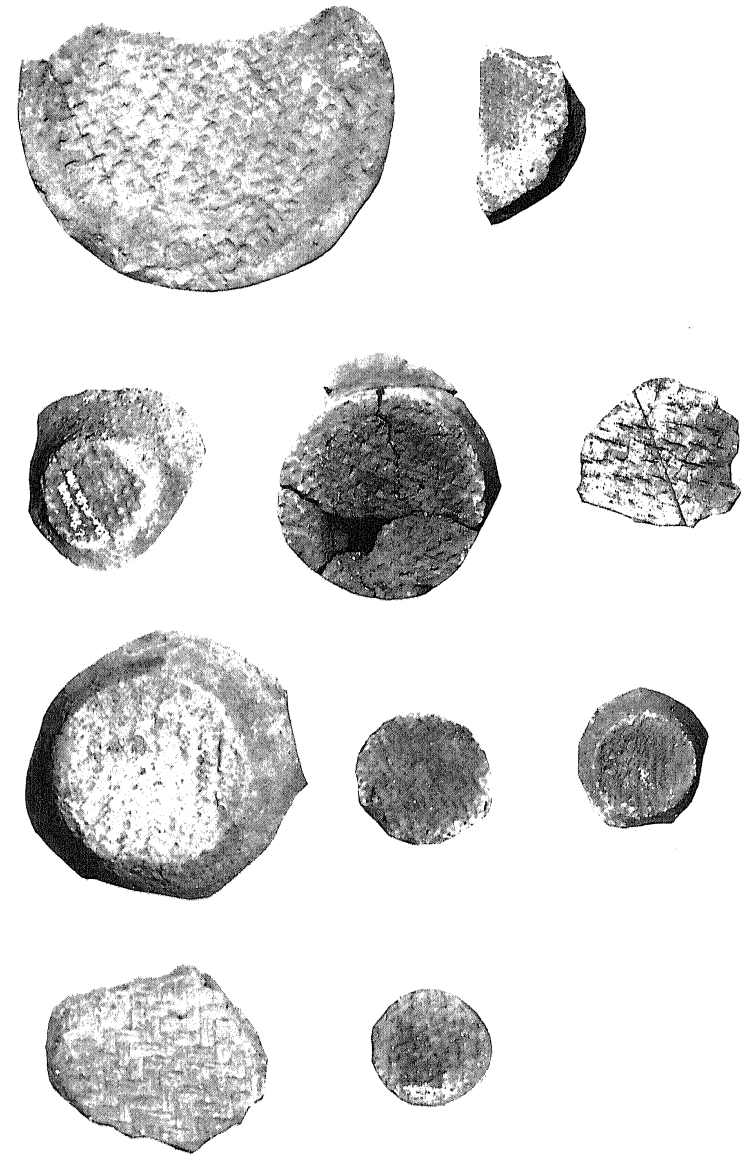
第79図 中谷遺跡出土土器拓影図(20)



第80図 中谷遺跡出土土器



第81図 中谷遺跡出土土器拓影図(21)



第82図 中谷遺跡出土土器

遺跡の現状

遺跡の中央には中央自動車道富士吉田線小形山高架が建設されているが、その周囲は水田・畑となっており、遺跡はまだ残されているものと思われる。

文 献

- 坂詰秀一 「小形山、中谷遺跡の調査」1964 中央自動車道考古学調査団『発掘調査の実施結果に基づく発掘調査報告書』(1)
- 坂詰秀一他 「山梨県都留市小形山における縄文晩期配石遺跡の調査」1967『甲斐考古』8
- 奥 隆行他『中谷遺跡』1973 都留市教育委員会
- 奈良泰史他『中谷・宮脇遺跡』1981 都留市教育委員会

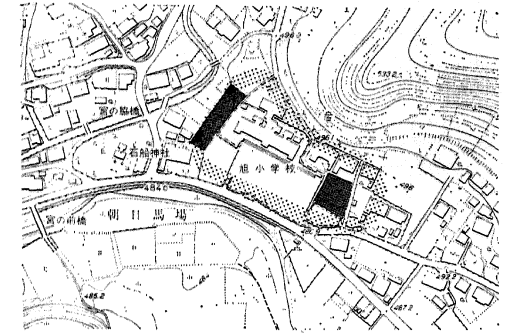
13 尾咲原遺跡

都留市朝日馬場字尾咲原

立 地

遺跡は桂川の支流、朝日川と大平川に南側、西側をはさまれた南面傾斜の洪積台地上に立地し、標高は500mである。

遺跡は旭小学校の敷地内を中心にひろがっている。



第1図 遺跡の位置

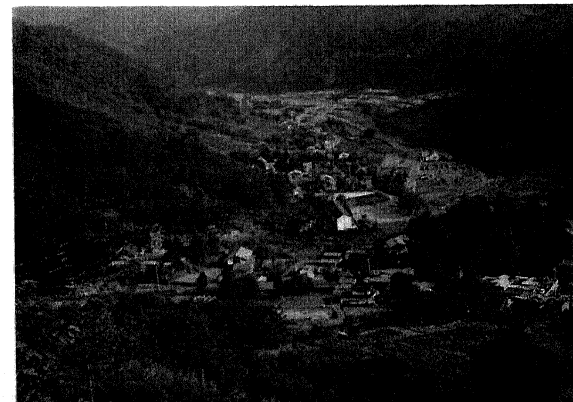
調 査

本遺跡の存在は古くから知られていたが、昭和35年に旭小学校の特別教室の建設工事を行ったところ、敷石住居址とそれに伴って多量の土器・石器が出土し、注目されることとなった。

その後、昭和57年に同小学校のプール及び体育館建設に伴い、日本大学考古学研究会・都留文科大考古学研究会の協力を得て、7月16日より発掘調査を実施し、体育館建設予定地では縄文時代中期曾利式Ⅱ～Ⅳ式期の住居址17軒、同時代後期初頭期之内1式期の敷石住居址2軒、平安時代の住居址2軒の計21軒の住居址が発見された。

プール建設予定地では、縄文時代中期曾利Ⅱ～Ⅳ式の住居址9軒、加曾利E4式に伴う敷石住居址1軒、同時代後期の加曾利B式期の住居址2軒、同末葉期の住居址2軒、同時代晩期の清水天王山式期の住居址4軒が発見された。

また、昭和58年5月にはプールの脱衣所の建設に伴う発掘調査が実施され、縄文時代後期初頭の称名寺式期の住居址1軒、同時代晩期前半の清水天王山式期の住居址2軒が検出された。



第2図 遺跡の遠景

遺構と遺物

<第1地点発見の遺構と遺物>

第1地点は旭小学校グラウンドの東側に位置し、現在の体育館の敷地内である。

本地区からは、前述のとおり、縄文時代中期～後期の住居址が19軒検出された。

第3図は、第1地点の全体図であるが、検出された19軒の縄文時代の住居址はほとんど重複していた。